

チア・にっぽんWEB セミナー アンケート

すべては神さまからの賜物 神さまの視点で子どもを見る



学習障害等支援を展開され、聖書的な視点から分析と励ましを続けているジョイス・イノウエ チャイルドD代表（教育学修士、ロサンゼルス在住）。ジョイス女史のメッセージは、「神様の創造には絶対失敗がない」、すべての子どもたちは「恐ろしいほどに奇しく」（詩篇 139:14）創られた、という聖書の真理に貫かれています。聖書に立った神さまからの希望と励ましのメッセージ、そして実践的な助言は、多くの人々に励ましを与えてきました。

今回、日本講演では初テーマとして、お子さんだけでなく親御さんにも学習障害や発達障害が見られるケースについて、聖書的なリサーチから分析をしてくださいました。このポイントは、チアに寄せられる相談の中で、時に親御さんが上記の苦勞を抱え、ご本人や配偶者の方が悩んでおられるケースに出会い、必要を示されたものです。それで、約1年前にジョイスさんにリクエストし、これまでの40年の研究に加え、特にこの1年間、研究・準備をしてくださいました。

「大人の発達障害」について、聖書からどのように受け止め、対応するべきか。また、そうした傾向に気づいた親たちが「どのように効果的に教育・ホームスクーリングを進めていくか」。実践的な分析とアドバイス、そして聖書からの希望と励ましのメッセージに、参加者の皆さんも大きな励ましを受けておられました。その感動の声をお届けします。

WEB セミナーアンケート

Aさん

私は今、息子の子育てに四苦八苦していますが、セミナーに参加して本当に良かったです。それは、子どもを愛することが一番だと聞けたからです。

息子はたぶんアスペルガーかなあと考えています。ジョイスさんがおっしゃっていたように、得意なことが与えられていて、卓球が得意です。でも心のバランスがアンバランスなようで、苦手な勉強をする時は、なかなかスタートできません。

一方で、とても頑張りたいという思いは強く、周りの友達のように良い高校に行きたいという理想も強いです。こだわりも強く、「新しい塾に行きたい」と、自らスマホで一生懸命探し、私が問い合わせをし、いざとなると「やはりここはダメ」の繰り返し。勉強ができるようになりたいのに体や頭がついて行かず、勉強を始められないという彼の不安に付き合うのが大変でした。

ある晩神さまに必死に祈った時に与えられた思いが、「彼を愛しなさい」でした。

ですから、ジョイスさんのお話を聞き、それが本当に神さまの御心だと確信いたしました。息子を愛し、祝福したいと心から思っています。神さまが造ってくださった息子ですから、神さま

を信頼し、祈りつつ見守っていきたいと思います。このような機会を与えてくださり、心から感謝いたします。

Bさん

久しぶりに、稲葉さん、ジョイスさん、愛子さんのお顔を拝見でき、それだけでも大変励まされましたが、セミナーの内容も素晴らしかったです。魂が癒される体験をしました。

我が家にはADHDの傾向が強い家族がいます。そのため発達障害について世の中の情報を調べてきましたが、神さまの御言葉に立ち返ることの大事さを、ジョイスさんを通して教えられ涙が出ました。

発達障害＝油注がれた者、という新しい見方にも衝撃を受けました。神さまの視点は世の見方とは全く違うのだと気づき、今まで世の情報ばかりに耳を傾けていたことを悔い改めました。

弱さを強い部分で補えば、鍵が解けるといふも分かりやすく、今後の子育てに希望の光が差したようです。神さまの助けを頂きながら、子どもたちの長所を見極めて伸ばして行ってあげたいと思います。

このような大変な時代にあっても、神さまの真理と神さまの希望は変わらずに与えられているのですね！

このような素晴らしい交わりの時、学びの時を与えてくださって、心から感謝しています。また次の機会を期待しています！！

Cさん

障害を持つ子どもよりも、まず親や関わる者の信仰が問われること、御言葉をそのまま心から信じて生きているかが問われることを強く示されました。相対比較ではなく、神さまの絶対比較で生き、接しているか……。

提示された御言葉を一つ一つ開きながら、「本当にそうだ……」と、宝物を掘り当てたようでした。

「子どもを祝福する」、これに尽きますね。そして、障害を見るのではなく、神さまが目的をもって大切に作られたその子自身を見る。

私自身が相対比較と決別するには、生きる足場をこの地上ではなく天へと完全に変えること。神さまへ方向転換すること。それには、日々神さまとの深い交わりが不可欠で、それは机上のことではなく、現場で実践し練られるものであること。信仰の原点を深く心に刻む時となりました。

家にいながらこのような学びができた恵みを感謝いたします。

WEB セミナーアンケート

Dさん

私は自宅で英語教室をしています。近年、ADHD や LD と思われる子どもさんたちと出会うことが頻繁になり、手探りで学びながら対応しています。

セミナーでは、基本的な意識を持つ大切さを学びました。神さまの創造に失敗はないこと、障害の中に賜物がある可能性があること、神さまは変化をもたらす方であること……。

祈りを絶やすことなく、子どもたちを良く観察して忍耐強く育てるお手伝いをしていきたいと思いました。

Eさん

現在私たち夫婦は、ある区内の発達支援学級でアートクラスを担当させていただいています。十数年のアート教室運営の中で、そのようなお子さんたちと関わることも多いです。

そんな中、クリスチャンではない心理士の捉え方や現在の発達障がいに対する認識を学ぶ一方、聖書の土台に立った専門家の意見をどのように学んだらいいのかと、この数年間ずっと祈り求めて来ました。

今回、「障がい」としてではなく「油注ぎ」として捉える専門家からの提言を聞かせていただき、心から主をほめたたえま

した。

本当にアーメン、アーメンの連続でした。「神の作品」として造られた子どもたちのアイデンティティが回復するために、日本でも聖書を土台とした心理発達の研究が推進されていきますようにと、切に祈ります。

共に働くノンクリスチャンの心理士さんたちや施設長にも、ぜひ内容をシェアさせていただきたいと思っています。

Fさん

たくさんの方々が参加され、祝福されたセミナーであったことを嬉しく思っています。

コロナ禍でセミナーやコンベンションが中止となり、残念に思っていた中、久しぶりに稲葉さんの顔を拝見し、忘れかけていた原点に立ち、ホームスクールの火を燃え立たせていただいたように思います。

セミナーをリアルタイムで聞くと、ジョイスさんや通訳者の愛子さんの優しさや間合いが心地良く、学びと気づきの感謝な時となりました。

最近、発達障害について学ぶ機会があり、自分も少なからず当てはまり、家族もそれぞれ特性を持っていることに目が行き、気になりすぎていました。

セミナーでは、神さまの視点を持つこと、弱さの中に神さま

の栄光があらわされることを聞き励ましをいただきました。またぜひ参加したいです。

Gさん

コロナ禍で皆様とお会いできない中、久しぶりに稲葉さんやジョイスさん、愛子さんの顔を見られただけでも、大変励まされました!!

セミナーでは、主への愛と信仰・信頼に満ちているポジティブなジョイスさんの言葉を聞き、胸が熱くなりました!

神の国の視点で物事を捉えること、神さまにできないことはなく失敗もないこと、神さまがおられない所はないこと、荒野に道を、砂漠に川を設けて下さる神は新しいことを成してくださること。

特に、学習障害・発達障害に油注がれているということ、子どもにとって1番のスペシャリストは親なのだ、ということに感動しました。子どもを愛し祝福できる親としての特権を改めて握ろう!と思います。

質問にも丁寧に答えてくださり感謝します! 私たちは状態を変えようとしがちだったり、知っていることを教えようとしがちなのだ、と、ジョイスさんの答えを聞きながら思いました。

そうではなく、この状態を通して神さまが導いて下さること

WEB セミナーアンケート

に心を傾け、もっと祈り、愛し、祝福することを選んでいく時に、油注がれている彼らを通してますます主の栄光があらわされていくのだと思いました。

自分の弱さを素直に分ちあいながら、彼らにとって安心される存在となり、心を分かち合える信仰の仲間となることを教えて下さったことを感謝します！

Hさん

セミナー後、ジョイスさんが挙げられた聖書箇所を開きました。よく知っている御言葉ばかりなのに、これまでにない説得力をもって心に突き刺さりました。

障がいは油注ぎで、神さまの賜物。きれいごとやただの励ましではなく、御言葉の裏付けがあり、それが事実なんだと思えました。

また「視界にないものは忘れる」という特徴は、何となくそうかなと思っていたのですが、はっきり言語化して下さったことで腑に落ちましたし、対応を工夫することができるようになりました。

弱い部分を補うためにテクノロジーをどんどん使えばいいとおっしゃっていたのも、息子のために選んだ学習方法の確認となり励まされました。

コンベンションや他のホームス

クーラーとの交わりの機会がなく、とても渴いていました。もう一度背中を押してもらえる機会が欲しくて参加しました。スケジュール的にはちょっと無理したのですが、参加してよかったです。

Iさん

天のお父様のトータルプランの中に自分や家族を置き、見つめ直すことができました。Q&Aでは、子育て世代への温かく励ましに満ちた眼差しとアドバイスが本当にありがたかったです。主の御前でへりくだり、親である私自身の成長をまず祈り求めていくべきことを改めて思わされました。

子育てに関しては、「子どもたちを祝福することは、子どもを生かすこと」との大切なポイントを再確認し、ホームスクーリングの初心に立ち返ることができました。子どもたちを祝福するための具体的アドバイスを胸に、家族で過ごす期間限定の一日一日を、大切に歩みたいと思います。

ジョイスさんと愛子さんの、ぴったりと息の合ったご奉仕は、本当に素晴らしかったです。稲葉さんからは要所要所でポイントの確認をいただき、大きな助けとなりました。主を崇めます。

Jさん

大変充実した時間となり感謝でした。国や場所が異なり一堂に会せなくても、セミナーに参加できたことは大きな喜びでした。

Kさん

ちょうど我が子のことで思い悩んでいた時でした。セミナーの中で、できないこと、苦手なことに焦点を当ててしまいがちな自分に気づきました。

親がそうするので、子どもも成長と共に親のできないところを指摘してくるようになりました。まず自分が変わり、ありのままの子どもを愛し、子どもを祝福する。得意なこともたくさん見つけてあげたいと思います。

また、家庭学習に関しても、子どものモチベーションをどう継続するかという点がとても具体的で、すぐに実践したいと思いました。

神さまに不可能はなく、失敗はないこと、子育てだけでなく、自分自身にとってもとても励みになりました。

Lさん

私は保育園に勤めていますが、関わりが難しい子どもが大勢います。コミュニケーションの

WEB セミナーアンケート

やり取りが難しいと、その子の衝動的な行動を制限することに追われ、その子と向き合いたい、理解したいと思いながらもつい忙しさから苛立つ感情にふりまわされ疲弊することも多いです。

でもその子の弱さが神さまからの油注ぎ、祝福だということをお伝えられ、頭のもやもやがすっきりした気がしました。目の前の子どもたちをもっとありのまま愛し、愛されていることを伝えたい、得意なことをたくさん伸ばしてあげたいと思いました。

Mさん

自分自身の傾向を見つめる機会となりました。相手の苦手な部分、うまくいかない部分に目を向けがちであったことを改めてお伝えされ、詩篇 139:14 に立ち、捉え方や考え方、接し方を改善していかなければ！とお伝えされました。

自分の傾向に陥る時、セミナーを思い出し、みことばを思い出していこうと思います。

Nさん

参加させていただきありがとうございます。聖書を土台として、みことばと信仰により、神さまと親子の関係を持つことを学ばせていただきました。

Oさん

自分ができないことに目を向けがちであること、自分と他人を比べていたことをお伝えされ、考えを改める良い学びとなりました。

障害や弱さを持っているからこそ、神さまが働いて力づけてくださるということが特に心に残りました。

神さまが私たちをどのように見てくださっているのか、子どものみならず、自分自身の弱さにも油注がれているということをお伝えいただき、感謝します。

Pさん

神さまに失敗はない、不可能はない、弱さは神さまからの祝福という力強い教えに、2時間があったという間でした。教えていただいたことを実践していきたいと思います。

Qさん

苦手なことは得意なことで補えるということが特に心に残りました。得意な部分を、神さまのために使えるようになりたいです！そして、好きなことに関する勉強をし、苦手なことも一緒に覚えられるようにしたいです！

Rさん

私たちの弱さの中に働いてくださる主。自分の弱さを認め、主の御力により頼み歩みたいと思いました。どのような状況であっても主が最善をしてくださることを信じさせていただける恵みを感謝します。

人との関係を築く中で、「この人には話をしても大丈夫、安全、安心だ」と思ってもらえる環境を作ることが大切だと教えていただき、とても勉強になりました。

神さまから受けた愛を流し、少しでも安心、安全な状況を与えられるように接していきたいです。そのためにも、もっと祈り主により頼まないといけない、と思われました。

Sさん

どのように人と関わっていくべきかを学びました。まず、自分の弱さを認めることは、本当に大事なと思われました。

その人自身を見ることも本当に大切だと思いました。これからたくさんの人と関わっていくと思いますが、今回学ばせていただいたことを忘れず、実践していきたいと思います。

Tさん

Q&A 中の「私たちはスペ

WEB セミナーアンケート

シャリストに相談したいと思いがちだが、親自身が子どもにとっての1番の理解者であること」という言葉が、とても心に残りました。

また、得意なことを伸ばすことで苦手なことを補えること、その人の得意分野は何かを発見することの大切さを学びました。

Uさん

私は、インターナショナルプレスクールに関わっており、セミナーで教えていただいたことから多くの気づきを与えられ、また聖書の約束に希望、励ましを受けました。

- ・神さまは障害を与えたのではなく、様々なことができる能力を与えられた。
- ・学習障害は障害ではなく油注ぎ。
- ・苦手なことではなく、得意なことを見つけ、楽しんで学べる工夫をすること。
- ・安心、安全を感じられるようにする。

・イエスさまはどのように語られ、聞き、愛してくださるか…。

また、私たちはその道のスペシャリストを求めがちですが、親が最も子どものことを知るスペシャリストであると聞き、ハッとしました。保護者の方々の声をよく聞き、お子様の個性や賜物を生かせるように共に歩んで

いきたいです。

Vさん

印象に残ったことは、自分の障害を認めず否定すると、もっと暗闇の中に留まることになる、ということでした。

御言葉を通して自分を見ることの大切さも思わされました。神のご計画、創造は完全であり、学習障害の上に神の油注ぎがある、ということは初めて聞きました。

得意なことを伸ばし苦手なことを補うため、何が苦手かを今一度客観的に見て言葉にまとめ、それを補うアプリを積極的に使っていきたいと思いました。

また、自分が主にあって学んできたことが、もしかしたら次世代や、同じ問題を抱えている人たちに方向性を示すことになるかもしれない、ということも印象に残りました。

Wさん

その子の長所にフォーカスを当てて伸ばしていく、決して他の子と比べずにあるままのその子を見てあげましょう、という言葉に励まされ、さらに我が子への愛が深まったような気がします。神様に本当に不可能はありません。感謝です。

Xさん

学習障害は油注がれたものであるということが深く印象に残りました。悪いところに目が行きがちですが、得意なことを通して子どもが神の栄光をあらわせるよう、言葉をもって子どもを祝福する。イエスさまのように実践していきたいと思います。

学習障害や様々な障害が荒野に見えたとしても、荒野に道を、砂漠に川を流れさせる神さまが共におられるなら、改善されないことは決してない。すべてのことを益と変えて下さるということ固く握ること。障害と思っていたものは神の油注ぎ、神の祝福でもあるという希望の視点が心に残りました。

Yさん

私には5歳の女の子と3歳の男の子がいます。現在インターナショナルプリスクールで教えていますが、セミナーを通じて、子どもたちを見る目がさらに変わりました。どんな弱さも、イエスさまの力を借りれば解き放つことができます。

一人ひとり子どもたちを、イエスさまのように見て、聞いて、愛することができますように。